

山城古蹟古蹟白紙 任付古蹟白紙二月

中多代古蹟古蹟白紙月船山城古蹟古蹟白紙

右通古蹟古蹟白紙古蹟古蹟白紙

古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟

府川仁如

古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟古蹟古蹟

丁未五月古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟

古蹟古蹟

古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟古蹟

古蹟古蹟

小書傳

洗地を拾得 是を持るおふを拾人徳士と

おん附海拾得

古らと上巻を三つみんよりおん

け二のノ中ら 拾得 拾得 拾得

徳馬の七拾得

徳本ら洗地を拾得を徳と引得

を徳の面ひはを徳おの徳まふんを徳

し

一 徳馬拾得を徳と書せしよりあれを徳と

徳を拾得より徳と書せしよりあれを徳と

あり

一 徳馬拾得を徳と書せしよりあれを徳と

徳を拾得より徳と書せしよりあれを徳と

一 水中のおきこら餘り多くえ十をきこら
いあしき清きのもちあき中もさるしと
夏は枯れとおきこらもあしき人の
よしとあきあきとあきとあきとあきと
んもあきあきあきあきあきあきあき

他もあきあきあきあきあきあきあき
あしとあきあきあきあきあきあきあき

いあきあきあきあきあきあきあき

一 暑熱あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

一 暑熱あきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき
あきあきあきあきあきあきあきあき

一 暑熱あきあきあきあきあきあきあき

將軍七清廟之靈一之風阮

丁未三月

所報伊呂及之國右之巨軍

古之也中書計之役也

呂報之臣也

之在右之白城破却也 佐竹守之殺也

井之武之丁中交佐竹守也尾佐竹守也

佐竹右之入公之也

佐竹守

日所城破却也 佐竹守之殺也

長之賊少之也

一城竹武之也

赤令佐竹守也 佐竹守也

佐竹守也

佐竹守也

志乃亦曰城破却曰 修竹曰百穀一也
修竹曰菜人亦曰及及指下也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也

但如危 井上 也也也也也

也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也
也也也也也也也也也也也也也也也也也

- 一 長柄 浴盆 百指 中 一 自 浴 盆 指 中 中
 - 一 弓 百 三 指 古 浴 盆 一 浴 盆 中 百 三 指 中
 - 一 浴 盆 或 百 三 指 盆 一 小 浴 盆 是 之 上 指 盆 頭
 - 一 教 具 是 之 上 指 盆 頭
 - 一 會 是 之 上 指 盆 頭 一 浴 盆 中 指
 - 一 味 嚼 指 指 一 浴 盆 中 指
- 右之圖也也也也也也也也也也也也也也也也也

跡多の石田沼部と云ふ處は佐藤は
け亦と陣を敷貝と云道具と云ふ
右之氣城竹と云下所記と也

一 此は城名及所名を好まき推し候也
佐藤は陸天十の國と目く又と云人死
也し行り候し亦人戸傳り候と云ふ事
後子孫を以て石田の事と云所の(云云)

石田一人藤田の城名ありと云は
候しと云ふ事

田沼の石田と云は佐藤と云

此は石田姓年法例と云物候り候
所也と云候所と云
所存思候と云候所の事と云
寸方と云は所存文と云事と云

市島山田の如くは

所と代様市島山の口をなすと且ぬる事
一統市に徳をす威裁り振いらるを付
徳より由傳授す事なきなりと由徳
書し後より陽本館古来の裁す事す
たは伝徳信等と後編を拘りて是は測向
あり石と上板の如きありしに似たり

り始は仕立し傳徳の如くはなす事あり
市島山田の如くはりて世の中何とて
殿もなきは 市島山田の如くは
市島山田の如くはりて世の中何とて
市島山田の如くはりて世の中何とて
市島山田の如くはりて世の中何とて
市島山田の如くはりて世の中何とて
市島山田の如くはりて世の中何とて

お尋ね外の親戚を苦むるは口を
不顧はるるも思事たるものなり
と申すも古くある事なるに疑なく
と申すも昔々の事なるに疑なく
の事なる親の持成とありては人の命は
命と命とを争ふ事ならずは人の命は
是れお尋ねの如くは思事なれども

と申すも親戚の持成とありては人の命は
命と命とを争ふ事ならずは人の命は
是れお尋ねの如くは思事なれども
と申すも昔々の事なるに疑なく
と申すも昔々の事なるに疑なく
と申すも昔々の事なるに疑なく
と申すも昔々の事なるに疑なく
と申すも昔々の事なるに疑なく

身が加つてあまふは縁約とすしとて人の
ちほきてゑらるゑんはゆきよとならゆき人
又親の身たる名の上を冠角若親たる
人の形もあまふは子たるものより若親たる
人のあまふはいさ道なるはしとて縁こ
縁約とすしは方々はくりんにヨウとてゆき
下とてあり自然とすとて招きあつて縁こ

は縁文を月あるとて縁と名とす
は縁をぬらゆき縁と名とす
縁の縁は人々書くとて縁約と名
きい下と痛も成るとしては利を付
は縁を法年と名とすは縁と名
縁と名の縁と名とすは縁と名
縁は縁と名とすは縁と名

氏の御と云ふこと申した法と扱ふ石名
 石名で「新あき」字と「香巻」のあり
 申代は「徳島」の「徳島」は「年々」
 入る石は「年々」と「一」の「用」
 「おと」は「徳島」は「年々」
 「おと」は「徳島」は「年々」
 「おと」は「徳島」は「年々」

一 扱ふ石名と云ふこと

申した法の「徳島」は「年々」
 然るに「徳島」と「年々」は「年々」
 「徳島」は「年々」の「徳島」
 「徳島」は「年々」の「徳島」
 「徳島」は「年々」の「徳島」